	 津工業高等	 宇専門学	交 開講年	度 令和0!		2023年	 度)	授	業科目	機械工作	———— 法 II		
科目基礎		3 131 3 3	7	1-18-	- 1.22 (-		~/	320.	-13111-				
科目番号 m0240						科目区分	科目区分		専門 / 必修				
授業形態		講義				+	重別と単位	数	学修单位: 2				
開設学科機械工			学科			対象学年	<u> </u>		4				
開設期		前期					週時間数			2			
教科書/教	材			廣垣俊樹ほか著「材料加工学 第2版」朝倉書店社, 20				21年,¥3,200+税					
担当教員		松井 翔	太										
到達目標	票												
1. 切削加 2. 研削加	I工,切削工 I工の概要お	具, 切削象 よび研磨加	4件を理解し,そ 1工を理解し,そ	の特徴が説明 の特徴が説明	できる できる								
ルーブリ	ノック												
			理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目							
評価項目:	1		切削加工の原理,特徴と応用例を理解し,知識を適用できる			切削加工の原理,特徴の ついて説明できる			上応用例に 切削加工の原理,特徴と応用例 ついて説明できない			寺徴と応用例に ハ	
評価項目2			研削加工と研磨加工の原理,特徴と応用例を理解し,知識を適用できる			研削加いと応用値	研削加工と研磨加工の原理,特徴 と応用例について説明できる			研削加工 と応用例	と研磨加1 についてi	□の原理,特徴 説明できない	
学科の発	到達目標項	 目との	 関係										
	程 2(2) 専攻												
教育方法	 去等												
概要		形式で担 1. 切削 2. 研削 3. 機械	目は企業で歯車の開発を担当していた教員が,その経験を活かし,各種加工方法の特徴と応用例等について講義受業を行なうものである. 加工の原理,切削工具,切削条件について学習する 加工の原理,特徴について学習する 加工の自動化,NC工作機械,NCプログラムについて学習する 能は講義形式でおこない,適宜,演習問題を課す 料書以外にも,授業中に資料を配布し,それらに基づいて授業を進めていく D科目は学修単位科目のため,事後学習として課題を課す 美90分間に対して180分以上は予習,復習や課題作成の時間に充てること										
授業の進め	め方・方法	2.教和 3.この 4.授	斗書以外にも,技 D科目は学修単位 第90分間に対し	受業中に資料を 立科目のため, て180分以上に	配布し, 事後学習。 ま予習,復	それらに として課 習や課題	基づいて招 題を課す 作成の時間	受業を返 間に充っ	生めていく てること				
注意点		1. 予	習と復習を確実に 題の期限内提出を	こすること F厳守すること	-								
授業の属	 属性・履修				_								
	ライブラーニ		」 □ ICT 利押	=		□□遠隔				口 宝務総		 教員による授業	
	122 _		[101 137	13		ZE FII	11/2/4////				Tight Color Color		
授業計画	—————————————————————————————————————												
	-	週	授業内容				ì	周ごと	の到達目標				
前期		1週	切削加工 1				t	切削加工の原理, 切削のしくみ, 切りくずの形態, 切					
	1stQ	2週	切削加工 2					削温度,構成刃先を説明できる 切削速度,送り量,切込みなどの切削条件を選定でき					
		3週	切削加工3					る 工具材料, 工具損傷, 工具寿命, 切削液などを説明で きる					
		 4週	切削加工 4				1.	旋盤の種類と構造, およびバイトの種類と各部の名称を説明できる					
		5週	切削加工 5				7	ボール盤、フライス盤の種類と構造、およびドリルの					
		6週	切削加工 2				t	種類と各部の名称を説明できる 切削速度,送り量,切込みなどの切削条件を選定でき					
		7週	研削加工1					る					
		8週	前期中間試験					種研削方法を説明できる					
		9週						試験美施 答案の返却と解説					
			答案返却					谷条の返却と解説 低石の三要素, 低石の構造, 低石の研削状態, 低石の					
		10週	研削加工2					目直しを説明できる					
		11週	研削加工3					各種研削盤の種類と構造の説明ができる					
		12週	精密加工					ホーニング加工,超仕上げ,ラッピング,超音波加工 ,液体ジェット,加工バフ仕上げを説明できる					
		13週	機械加工の自動化1					NC工作機械, NCプログラムについて説明できる					
		14週	機械加工の自動化2					マテリアルハンドリング、産業用ロボット、FAについ					
								て説明できる					
		15週	前期定期試験					試験実施					
=== /====== /		16週	答案返却						答案の返却と解説				
評価割合				10 /	4155		+0 4	-	====	1	716	\	
40. △ ==: /==	試験		<u>発表</u>	相互評価	態度		報告書		課題	その	<u> 면</u>	合計	
総合評価語			0	0	0		20		0	0		0	
基礎的能力			0	0	0		0			0		+-	
専門的能力	カ 60		U	0	0		20		20	Įυ		100	

分野横断的能 力	0	0	0	0	0	0	0	0